

# イントラリポス輸液の投与方法について

## ★補足資料

### 同一ルートから投与可能な代表的な製剤

●輸液単独の場合、側管からの投与が可能です

糖・電解質 ・アミノ酸輸液	5%ブドウ糖液、ソルラクト S、ヴィーン F、ソルデム 1 号、ソルデム 3A、KNMG3 号、EL-3 号、ビーフリード、プロテアミン、プラスアミノ、モリヘパミン、ネオアミュー、ハイカリック RF、エルネオパ 1 号、2 号など
------------------	---

●輸液に混合されているものが電解質注射、ビタミン製剤、微量元素製剤、ヒトインスリンの場合も投与が可能です

糖・電解質注射	50%ブドウ糖液、10%塩化ナトリウム注、KCl 注、リン酸二カリウム注
ビタミン製剤	チアミン注、アリナミン F 注、FAD 注、パンテニール注、シアノコバラミン注、ビタミン C 注、オーツカ MV 注
微量元素製剤	メドレニック
ヒトインスリン	ノボリン R

### 配合されていると側管から投与不可な代表的な製剤

●主に輸液に混注されて使用されるもの

(これらの製剤が配合されていない輸液の時に投与してください)

ファモチジン注、メトクロプラミド注、カルバゾクロムスルホン酸 Na 静注、トランサミン注など

●側管から投与されることがあるもの

(時間をずらして投与してください)

ラシックス注、カンレノ酸カリウム注、フェジン静注、抗生剤

●持続投与される循環器用薬

(別ルートから投与を行ってください)

ヘパリンナトリウム注、ペルジピン注、ノルアドレナリン注射液、ニトロール注など

投与可否が不明な場合は薬剤師に確認をお願いします